

月	時間	題 材	題材の目標	学習活動	評価基準
4	1	オリエンテーション 教科書	年間の流れを確認する。 教科書の中身について確認する。	授業や評価について確認をする。 教科書を読み、それぞれの項目について知る。	知 主 知 思 主 客観テストによる。
	1				
5					
6	3	墨の絵	京都や広島の文化遺産を確認し、墨で描く	済を使い、写真などを参考にして絵にしていく。	知 思 主 作成物の確認による。
7	5	平面構成,不思議な世界	透視図や投影図を駆使して奥行きのある画面を表現し、色彩のグラデーションなども工夫する。	エッシャーなど,過去の作品を鑑賞し、視覚による錯覚や色彩の使い方を確認して作業をする。	知 思 主 作成物の確認による。
	2	日本美術史から抜粋	京都や奈良、江戸時代に関する文化遺産を確認する。	プリントと美術資料を使い時代の流れと文化財の関係を知る。	知 思 客観テストによる。
8		ポスター	夏休みの宿題としてポスターを制作する。	いくつかの課題となるテーマから選びポスターを制作する。	知 思 主 作成物の確認による。

9 10	8	石彫・篆刻	篆刻文字について確認し、自分の印鑑を作り上の部分を使い彫刻を作成する。 彫刻のデザインを描き、立体作品に表現していく。	自分の氏名を篆刻文字で描き、裏側に写る鏡文字を石に写し、彫っていく。 篆刻刀やヤスリ、耐水ペーパーなどで削り出し、布で磨いて仕上げる。	知 思 主 作成物の確認による。
					知 思 主 作成物の確認による。
11	2	西洋美術史から抜粋	日本の文化とも関係が大きい西洋の美術の流れを確認する。	美術資料を基としたプリントを読み、興味を持ち、流れを知る。	知 思 主 客観テストによる。
12.	2	模写	西洋画の技法や画法を知り、画家を確認する。	美術資料や画集より絵を選び、レタリング同様に枠を描き、模写をしていく。	知 思 主
1 2	6	模写	色彩を似せることができるか確認をする。	印刷物を基に描いているので実物とは違うが混ぜる色などを意識して表現する。	知 思 主 作成物の確認による。
	3	5	堆朱工芸	工芸品としての漆細工を知り、堆朱を使い表現する。	デザインを考え描いたものを選び、材料に写し、削り出し完成する。